

にし

<地区人口と世帯数>

男 3,650人 女 3,315人
計 6,965人
世帯数：2,547世帯
(2月1日現在)



【編集発行】

福島市役所西支所
〒960-2155 福島市上名倉字妻下4番地の2
☎593-1001 ㊚594-2118

西支所からのお知らせ

春季火災予防運動！ 3月1日から3月7日まで全国一斉に実施 「おうち時間 家族で点検 火の始末」(2021年度全国統一防火標語)

この運動は、火災が発生しやすい時季を迎え、防火防災についての意識や防災行動力を高めることにより、火災の発生を未然に防止し、**火災による犠牲者をなくす**とともに、財産の損失を防ぐことを目的としています。

福島市で令和3年中に発生した火災件数は72件(前年比7件増)でした。

火災種別では、建物火災が40件でトップ、次いでその他の火災(枯草火災など)が19件、車両火災が12件の順になっています。出火原因別では、放火・放火の疑いによるものが8件、たばこが7件、次いで電気配線(電気配線のショートや経年劣化など)が6件の順になっています。また、火災により尊い命が失われています。

この時季は空気が乾燥し、暖房器具を多用するため、火災が起こりやすくなります。この機会に下記の「住宅防火のいのちを守る10のポイント」を確認するとともに、火災から命を守る住宅用火災警報器の設置や点検を行い、火災予防に努めましょう。

★住宅防火 いのちを守る 10のポイント

【4つの習慣】

- 1 寝たばこは、絶対にしない。
- 2 ストープの周りに燃えやすいものを置かない。
- 3 こんろを使うときは火のそばを離れない。
- 4 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜いておく。

【6つの対策】

- 1 ストープやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する。
- 2 火災の早期発見のために住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- 3 部屋を整理整頓し、寝具・衣類及びカーテンは、防災品を使用する。
- 4 火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し使い方を確認しておく。
- 5 お年寄りや身体の不自由な人を守るために、避難経路と避難方法を常に確保し備えておく。
- 6 防火防災訓練に参加するなど、地域ぐるみの防災対策を行う。



よろしく
お願いします



～ご協力ありがとうございました～

昨年、西地区の皆様にご協力いただきました各種募金等の実績額についてお知らせいたします。これらの寄付金は、さまざまな福祉活動等に役立てられています。

◆日赤社費 817,400円
◆赤い羽根共同募金 804,695円
◆歳末たすけあい募金 225,630円

◆社協(一般・特別)会費 883,600円

※社協会費については、高齢者等給食事業助成、ふれあいサロン事業助成や敬老会開催助成等に使用しています。

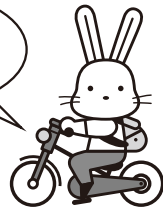
市民交通災害共済に加入しましょう

市民交通災害共済は、交通事故による被害者を救済することを目的として、県内13市が共同で実施している制度です。交通事故でけがをした場合、入院や通院日数に応じて見舞金が支払われます。

また、自転車の自損事故も見舞金の対象となりますので、ぜひご加入ください。

◆年会費 1人 500円
◆共済期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日
(4月1日以降に加入された場合は、加入日の翌日から)
◆見舞金 通院・入院の日数に応じて2万円から最高(死亡時)100万円まで
◆加入資格 加入時に福島県内の13市に住居登録している方
◆申込開始日 3月1日(火)から
◆問合せ 市役所生活課(☎525-3787)または西支所(☎593-1001)

ワンコインで
家族を守る!



窓口からのお知らせ

3月から4月は、転入・転出等の住民異動が最も多くなり窓口が大変混雑します。窓口での待ち時間が通常より長くなりますので、日程・時間に余裕をもってお越しください。

【住民異動届・住民票等交付請求の際の注意点】

●ご本人確認のため、官公署発行の顔写真付本人確認書類

(運転免許証、マイナンバーカード、旅券等)の提示をお願いします。

なお、上記書類をお持ちでない方は、健康保険(介護保険)証、年金手帳(証書)等を2点以上提示してください。

●代理の方が手続きする場合は「委任状」が必要です。

※本人と同一世帯の方など一定の条件を満たす場合は不要です。詳しくは、窓口におたずねください。

みなさまのご理解と
ご協力をお願いします。



西学習センターからのお知らせ

【編集】福島市西学習センター
〒960-2155 福島市上名倉字妻下4番地の2
☎593-1013 ㊟593-5198

令和3年度 学習センター活動報告～この1年を振り返って～

少年教育

<西こどもクラブ>

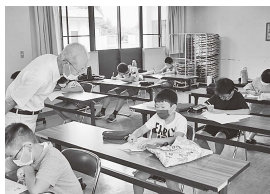
子ども達が農業体験やレクリエーション、ものづくりなどを通して、たくさんの事を学びました。



▲消しゴムはんこで手作り年賀状

<その他少年教育>

- ・親子教室
- ・こども自然体験教室
- ・科学工作教室
- ・読書感想文教室 など



▲読書感想文教室

青年教育

<1UPカレッジ>

若者が「実生活に役立つ学び」をテーマに様々な知識や教養を学びました。



▲パーソナルカラー講座

女性教育

<西女性スクール>

地域の魅力ある女性を目指し、教養講座や継続できる運動など楽しく活動しました。



▲ユニカール体験

家庭教育

<ほかほかClub>

よりよい「子育て・親育ち」を学びました。



▲親子ふれあい体操

高齢者教育

<西ことぶき学級>

地域の高齢者が健康体操や音楽、教養講座など、いつも元気に楽しく活動しました。



▲西ことぶき寄席

その他事業

- ・市民学校
- ・西地区文化祭
- ・町会への出前講座
- ・大人のための社会科見学
- ・ふるさと自然探訪
- ・ヒストリーウォーク など



▲大人のための社会科見学 (あづま球場)



▲市民学校 (健口(けんこう)教室)



▲歴史講座(福島の史跡10選そして西地区へつづく旅)

西女性スクール学級生募集!

- 活動期間 令和4年4月～令和5年3月
- 内容 福島市女性学級統一テーマに添って、みなさんのご要望をもとに決定します!
- 年会費 1,000円
- 対象 西地区・土湯地区の成人女性
- 申込み 4月8日(金)までに、西学習センターへ



お知らせ

例年3月に開催の西地区芸能発表会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止いたします。

また、2月20日(日)に開催予定していた第53回西方部親善卓球大会は中止いたしました。

市民学校 「昔話で笑い与健康」

笑うことはストレスの解消や健康の維持・増進につながると言われています。藤東さんの昔話(民話)を交えた講演で、楽しく元気になるましょう!ぜひお気軽にご参加ください!

- 日時 3月9日(水) 午前10時～11時30分
- 場所 西学習センター 大ホール
- 講師 福島市語り合いネットワーク 生きがい支援アドバイザー 藤東 ヨシさん
- 対象 主に西地区の60歳以上のかた
- 定員 20名(先着順) ●参加費 無料
- 持ち物 筆記用具、飲み物、マスク着用
- 申込み 3月6日(日)までに西学習センターへ(電話可)

移動図書館 しのぶ号

- ・3月7日(月)
 - 佐倉小学校 10:00～10:30
 - 佐原小学校 14:00～14:40
- ・3月11日(金)
 - 荒井小学校 10:00～10:30

